

# 雲仙岳災害の伝承と災害伝承 ミュージアムとしての取組み

The role of a museum passed down to posterity about volcanic  
disasters on the Mt.Unzen

雲仙岳災害記念館

館長 河本富士雄

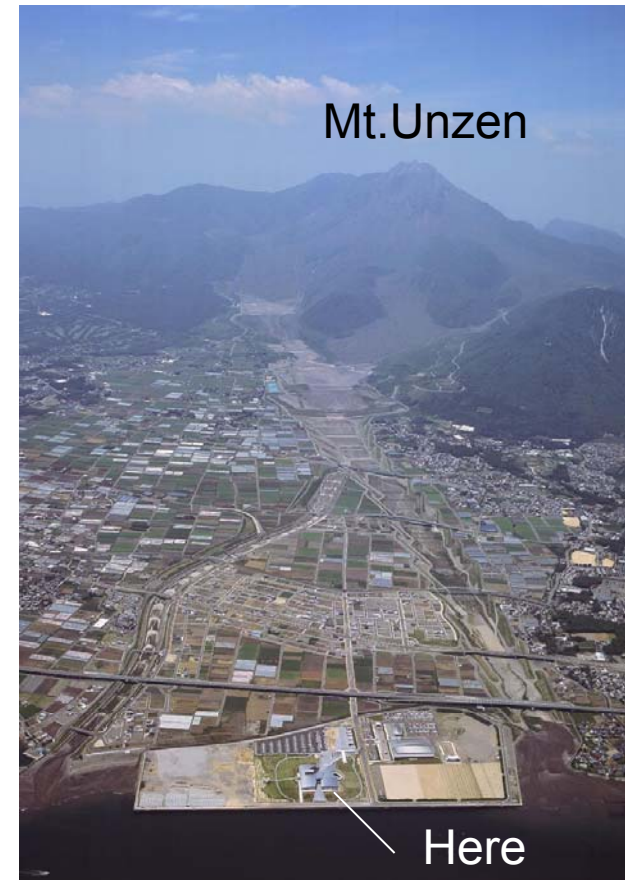
Mt.Unzen Disaster Memorial Hall  
Director Fujio Kawamoto

# 雲仙岳災害記念館とは

About Mt.Unzen Disaster Memorial Hall



- 設立年: 2002年
- 施設設置者: 長崎県
- 管理運営: (財)雲仙岳災害記念財団
- 土石流で埋まった河口を埋め立て設置
- 日本で初めての世界ジオパーク加盟「島原半島ジオパーク」の中核施設

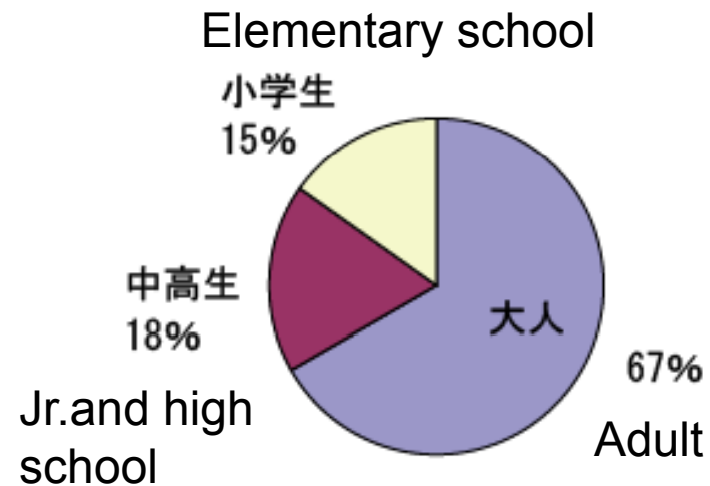
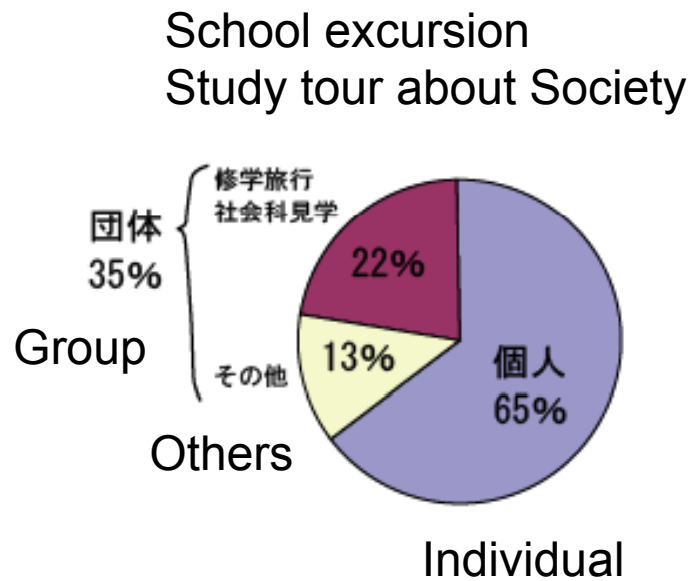


# 設立目的

- 平成の雲仙岳噴火災害の脅威や教訓を風化させることなく後世へ伝承し、自然災害に対する防災意識を後世に継承する。
- 火山学習(観光)の中核施設として観光客の集客に努め、地域の活性化を図る。
- 災害時に全国からいただいた温かいご支援への感謝の気持ちを表す。
- 「平成新山フィールドミュージアム構想」の中核施設として、火山に関する総合的な学習機能を担うほか、島原半島の自然や歴史などの地域情報を紹介する。

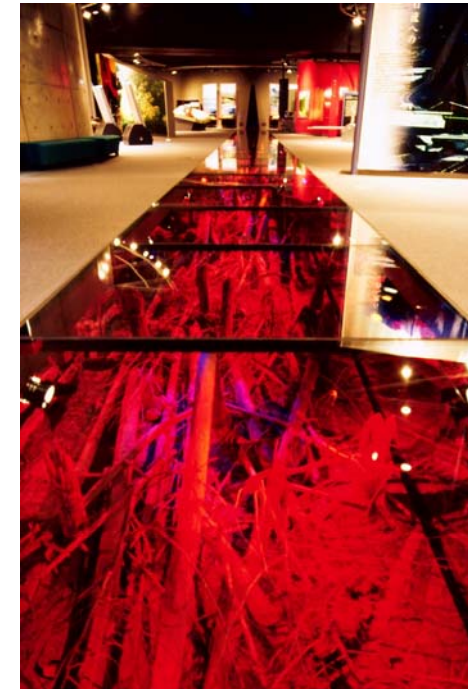
# 来館者概要 About Visitors

年間来館者数 約16万人  
Visitors/year 160,000 people



# 展示内容 Exhibitions

- 自然の脅威
- 災害の悲惨さ
- 命の尊さ
- 火山のしくみ



# 復興・防災についての展示

- Exhibitions about restoration



# 伝承のための二つのアプローチ

1. 地元で→子供たちに

2. 地域外の人々へ→観光

# 協力者 Cooperators

- 被災地住民
- 研究者
- 行政(教育関係)

防災教育の出前講座



学校教員への研修

語り部による災害体験の講話



研究者から直接教わる学習イベント





# イベント・企画展

## Events and Special Exhibitions

### いのりの灯



Memorial events for the disaster  
On June 3 were held every year.



Music concert by high school students

# 住民参加

The participants of inhabitants

語り部による被災体験の講話



A talk by Inhabitants have a experience of the disaster



Candle making for a memorial events by younger generations

# 災害伝承ミュージアムの役割

The role of the museum and future vision

## 学校教育との連携を図る新プログラム



The support programs for education

## 学習指導要領にあった授業プログラム

展示物を利用し、授業時間の単元として、効果的に活用できる。

## ジオパークを活用した教育



Educational tour using the geopark

# おわりに

- 噴火災害を知らない世代への交代が進む中、地域の魅力を楽しみながら、その中に災害の経験や教訓を後世に伝えられるように工夫することが継続性を生む上で重要です。
- 1人でも多く、1年でも長く、噴火災害の教訓を伝えていけるよう火山・防災教育に取り組む活動を行っています。